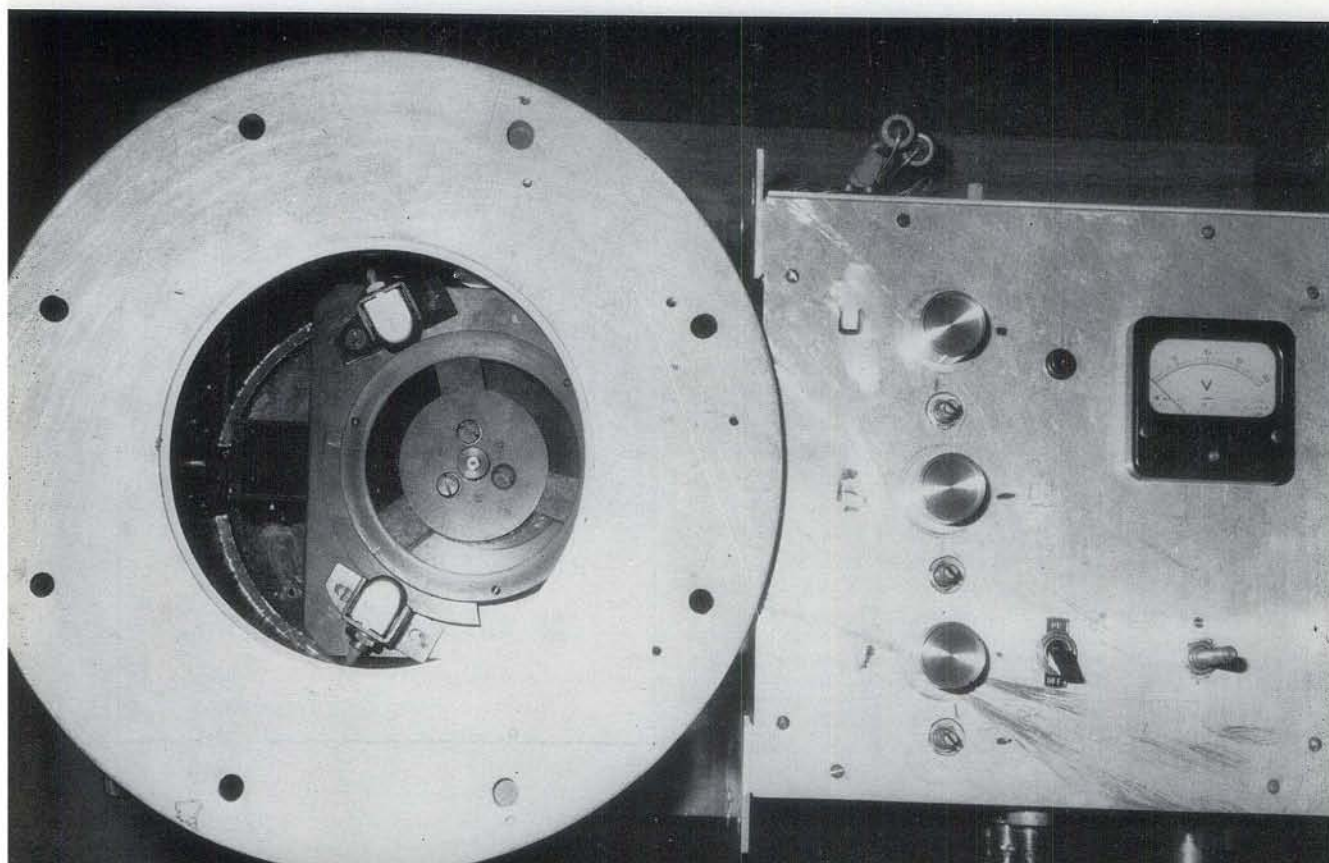
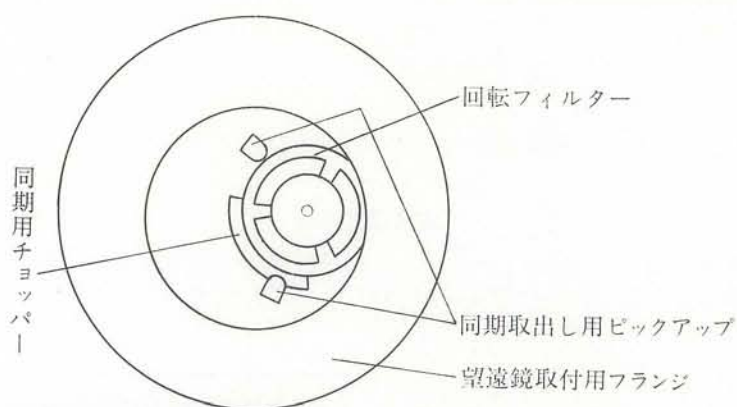
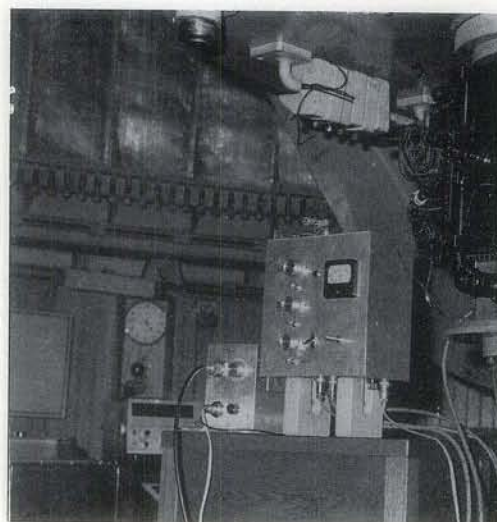


フレアー星の三色測光

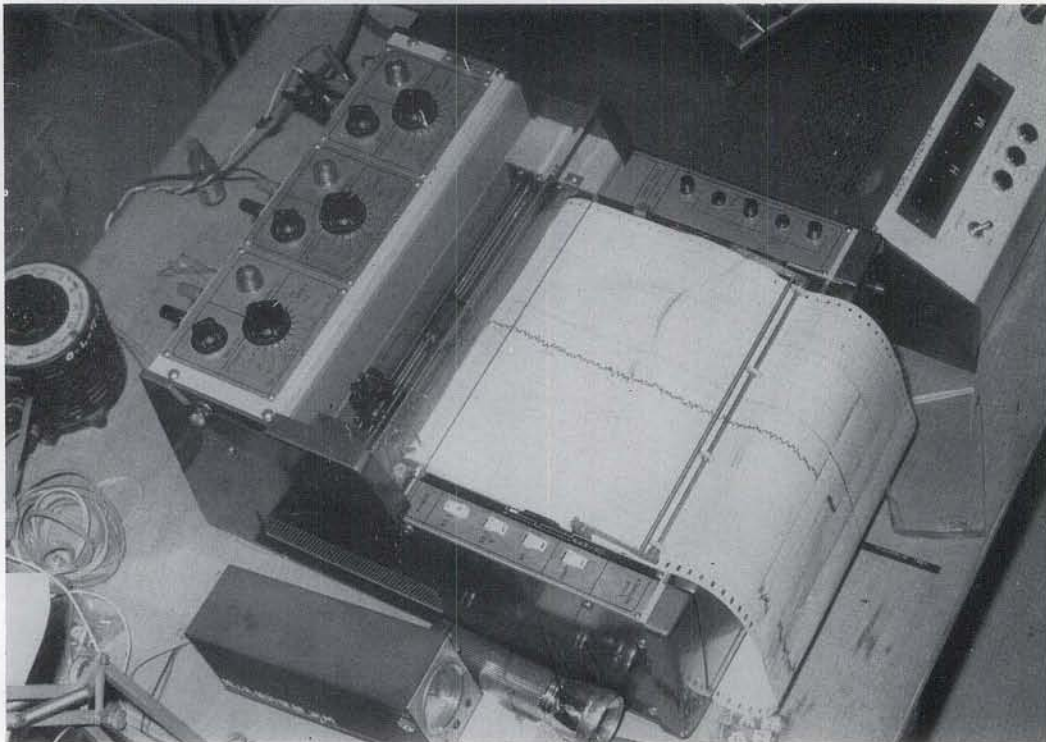
去年から東京天文台岡山天体物理観測所でフレアー星の三色測光がはじまった。光電管の前で三つのフィルターをまわす方式で、すでにいくつかのフレアーの記録がとられている。

- ▼ 望遠鏡から取外してフィルターをみたところ、三分割した小さな円盤にフィルターがついている。
右側にあるのが三つの光の強さをはかるアンプ。

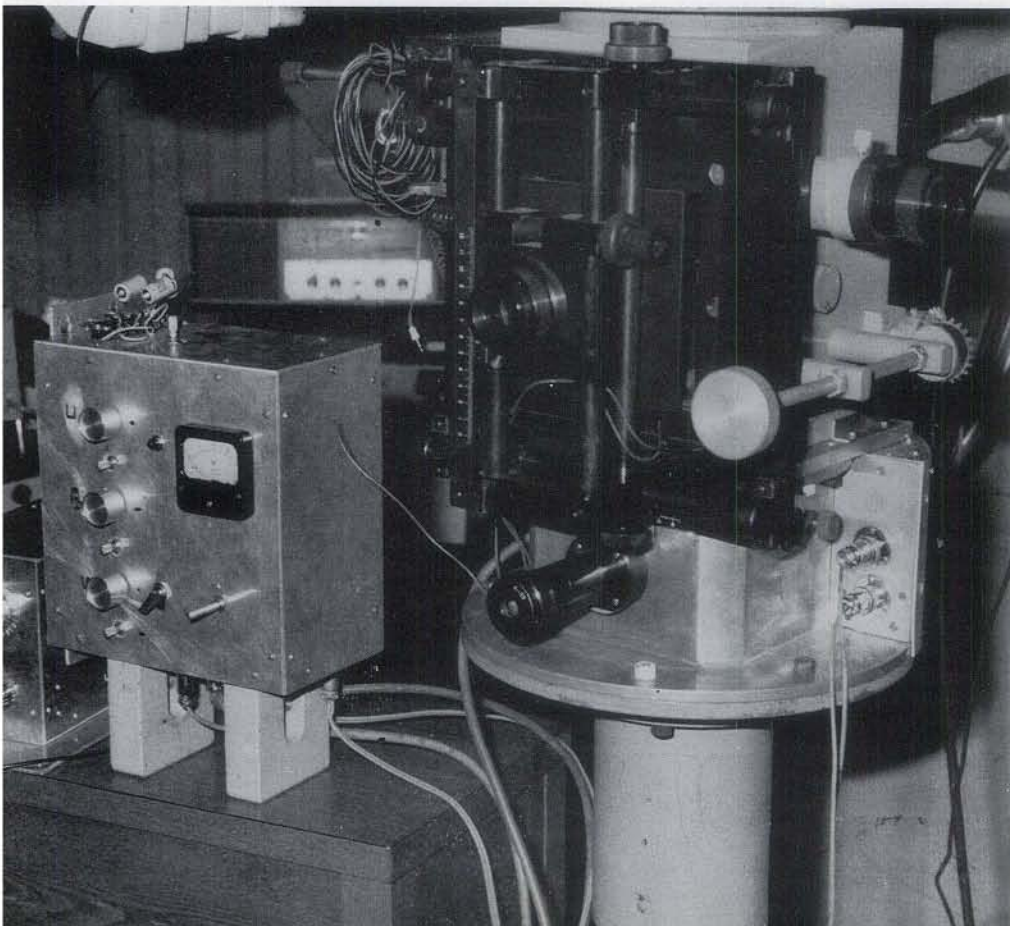




レコーダー▶



▼ 90 cm 望遠鏡カセグレン 焦点に取付けたところ。手前のアイピースでダイアフラムに星が入っているかチェックする。



◀45° の鏡を倒してアイピースに光を入れるつまみ

◀ガイド用アイピース

◀光電管はこの中に入る。

人工衛星による測地観測

昨年12月から今年の1月にかけて、人工衛星を使っての日ソ共同測地観測が行なわれた。これはユージノサハリンスク（ソ連サハリン）、ウランパートル（モンゴル）、堂平山（日本）の3点を結ぶ同時観測で、ソ連からはラプーシュカ氏（ラトビア天文台）が来日し、日本では東京天文台と国土地理院がこれに参加した。

（写真はいずれも東京天文台堂平観測所にて）

ソ連製AFUカメラとラプーシュカ氏▶

設営中の国土地理院人工衛星カメラ ◀

▼東京天文台のペーカー・ナン・カメラ

